

Aspects of Writing Expressions of Movie Subtitles in Japanese

Yumiko Yoshimura

Abstract

The purpose of this paper is to examine how the Japanese writing system and the characteristics of its letter types affect the expressions of movie subtitles. Ordinary written Japanese consists of three letter types, i.e. *kanji* (Chinese characters), *hiragana* (Japanese cursive syllabary) and *katakana* (Japanese square syllabary). *Kanji* are logograms which convey meaning and pronunciation while *hiragana* and *katakana* are phonograms which represent sound only.

Analyzing fourteen movies with Japanese subtitles, we found differences and similarities between movie subtitles and common writings.

Movie subtitles are unique in that:

- 1) they use no punctuation or quotation marks,
- 2) they leave space between words out of necessity.

The similarities are that:

- 1) they put difficult *kanji* into *hiragana* or *katakana*,
- 2) they attach small *hiragana* above normal sized difficult *kanji*,
- 3) they include small *katakana* which shows the pronunciation of the original foreign language above the translated Japanese,
- 4) they attach a small sized translation above normal sized *katakana* which represents the sound of the original foreign language,
- 5) Latin letters are included in an unavoidable case.

The ingenuity of subtitle makers reflect that they would like to show both pronunciation and meaning clearly, and in some cases not only for Japanese but also for the original foreign language. Viewers also have enjoyed these complicated and rich expressions.

日本語映画字幕の表記の諸相

吉村弓子

1. はじめに

映画は、1895年にフランスのリュミエール兄弟によって発明された¹。工場から労働者達が出てくる『工場の出口』、列車が駅に到着し乗客が乗り降りする『ラ・シエタ駅への列車の到着』は、わずか40秒ほどの作品である²が、画が動く迫力に観客は大いに驚いた。その原理は、静止画を次々に映すと動いて見えるパラパラ漫画の仕組みである。ゆえに、"movie"「活動写真」と呼ばれた。音声の無い、映像のみの「無声映画」「サイレント」の時代、状況説明や台詞の表現は次のように行われた。

- 1) 弁士が各劇場で解説する
- 2) スクリーンの脇に別の小さなスクリーンを置き、そこに字幕を投影する
- 3) 1つのスクリーン上の映像を一旦ブラックアウトさせ、字幕のみを表示させる

3) は今でもサイレント作品を観れば体験することができるが、1) 2) は消滅してしまった。今で言えば、1) は歌舞伎で音声イアホンによって解説を行うのに似ており、2) は文楽やオペラで左右あるいは上下の電光掲示板に字幕表示をするようなものである。映画に音声がついて「トーキー」と言うようになってからも、音量をあえて絞って弁士が解説を続けることもあった。技術的には2)3)を改良し、映画画面に重ねて字幕を焼き付けるスーパーインポーズが開発された。「字幕スーパー」と呼ばれる所以である。日本で初めて字幕スーパー付映画が劇場公開されたのは1931年2月11日のことで、作品はアメリカ映画『モロッコ』、字幕は田村幸彦による。当時の事情、その後の字幕スーパーの進展、弁士の衰退については、田村（1931a～1931e）、清水（1985）に詳しい。

清水（1985、1992）、戸田（1994、2009）によれば、映画字幕が書物の翻訳と決定的に異なるのは、文字数の制約である。書物は読者のペースで時間をかけて読むことができるが、映画は上

¹ リュミエール美術館 http://www.mmm-ginza.org/museum/serialize/backnumber/0511/museum_0511.html

² <https://www.youtube.com/watch?v=sbW8Izcqh8M>

映時間が決まっており、ゆっくり上映したり途中で止めることは許されない³。字幕1枚を投影する時間は5秒、文字数は5秒で読める文字数、すなわち、「1行10字×2行=20字」と決まっている。もちろん観客は字幕のみを注視しているわけではなく、俳優の表情やしぐさ、衣装や背景などを楽しみながら、ちらっと字幕を見るのである。そのように見た場合の「20字/5秒」である。そのため、台詞すべてを翻訳して字幕にすることは不可能であり、物語の進展がわかる程度に省略・意識し、文字数内に収めることが要求される。

日本語の表記システムは、漢字、ひらがな、カタカナという3種の文字体系を混用していることから、この文字種の特徴を活かせば字幕に工夫を凝らすことができるのではないかと。本稿では、字幕に見られる文字種に焦点を当て、その諸相について考察する。

なお、同じ映画作品でも厳密に見れば、劇場、DVD、テレビと、字幕が異なることもあるが、ここでは用例収集の都合上、DVDを出典とする。

2. 総ひらがな表記

子供向けの作品は字幕版は少なく、吹き替え版が多い。子供の言語発達は、聞くことが読むことに先行しており、映画を見る子供はみな音声は理解するが、文字は理解できない子供もいるので字幕の需要は多くないと考えられているのであろう⁴。

『レオ・レオニ 5つの名作集』は絵本を原作とする映画で、音声も字幕も日本語と英語の選択ができる。日本語の字幕は(1a)のように総てひらがなである。

(1) a.「おおきな さかなに、みんな たべられちまう。」(「スイミー」)

b.「おおきな さかなに、みんな たべられちまう。」

c.「大きな魚に、みんな食べられちまう。」

(2) 「でも、いつまでも

こんなくらしをつづける わけにはいかないよ。」

(1b)のように、ひらがなを連続させると読みにくくなるため、適宜スペースを空けてある。大人向けの文章ならば(1c)のように漢字ひらがな交じりとなり、漢字が語の切れ目を示している。(1a)のスペースは子供向けの文章特有の表記法である。

しかし、この書式は、実は日本語映画字幕の書式ではない。まず、「1行10字×2行」ではなく、(1a)(2)のように1行10字や2行20字を超えることがある。これは、原作の絵本や映画の英語版字幕の改行をあえて踏襲しているためである⁵。次に、読点(「、」)、句点(「。」)、かぎ括弧(「」)の利用である。映画字幕では(3)のように、読点も句点もかぎ括弧も使われない。

(3) 立つんだバカもの (『ピーターパン』)

³ DVD、Blu-ray、Internetなどで映画を観る場合は、一時停止、スロー再生や高速再生が可能であるが、映画製作者の意図とは言えないだろう。

⁴ 大人向けの邦画には、視覚障害者に配慮して日本語字幕が付されたものもある。

⁵ 絵本『スイミー』(1969)で翻訳者の谷川俊太郎は、原本の視覚的な美しさを損なわないよう、文章のレイアウトをできるだけ原本どおりにしたと述べている。

3. 総振りがな表記

ケイメディアの世界名作シリーズの字幕は通常の漢字かな交じりであるが、漢字には総てひらがなが振ってある。字幕は1～2行で、2行の場合、1行目のふりがなは漢字の上に、2行目は下に振ってある。つまり、(4)のように、中央行に普通の漢字かな交じり文、その上下にふりがなが表示されているわけである。

(4) むかしむかし^{とお ところ}遠い所に

小さな王国^{ちい おうごく}がありました (『シンデレラ』)

「むかしむかし」と、ひらがなが連続すると読みにくいため、半角のスペースを空けて「むかしむかし」と表記する方法は、「2. 総ひらがな表記」で見た通りである。

4 難読漢字の扱い

4.1. ひらがな表記

戦前に映画字幕に携わった人達は、大学を卒業し英語が得意なエリートであるが、映画は大衆の娯楽と心得、義務教育を終えた普通の人を読める漢字のみを使うようにした。この方針は現代にまで引き継がれ、難しいと判断された漢字は、ひらがなで表記される⁶。

(5a) (6a) (7a) (8a) が字幕に現れた表記である。漢字で書けば (5b) (6b) (7b) (8b) になる。なぜ、漢字が使われなかったのか。(5b) の「壁」は常用漢字ではなく(以後、「表外漢字」と呼ぶ)、「壁」と間違われることが多い漢字である。「完璧」という漢語を「完べき」と、漢字とひらがなの交ぜ書きにするのは一部では評判が悪いが、表外漢字への配慮を優先したものと考えられる。(6b) の「倅」も表外漢字で、実際のところ読めない人が多いと思われる。「親」「父」は常用漢字であるどころか、義務教育で学習する教育漢字であるが、「父」を「じ」と読むのは常用漢字音訓表の外(以後、「表外音訓」と呼ぶ)である。(7b) の「他」は教育漢字であるが、「ほか」は表外音訓で、「た」が表内音訓である。(8b) の「経」は教育漢字、「緯」は常用漢字である。「経緯」を「けいい」と読むなら簡単であるが、「いきさつ」と読むのは難しい。

(5) a. 惜しいな

君が入れば完べきだ (『サウンド・オブ・ミュージック』)

b. 君が入れば完璧だ⁷

(6) a. せがれはおやじのようになる (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

b. 倅は親父のようになる

⁶ 戦後の国語政策として、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など公共性の高い日常生活において使用する漢字の字数、読み、字体の目安が定められている。1946年当用漢字表(1850字)、1981年常用漢字表(1945字)、2010年改訂常用漢字表(2136字)があるが、本稿では2017年現在での漢字表の一般社会への定着度を勘案し、1981年版常用漢字表を基準として議論する。

⁷ 以下、2行の字幕を引用する場合は、原文のみ2行とも示し、表記の書き換えを行う場合は問題となる行のみを示す。

=もと」「敵」それぞれの意味が機能しておらず、当て字となっている。(12d)の「駄」は常用漢字、「目」は教育漢字であるが、「駄=無駄なもの」「目」という意味がすぐに「駄目=悪い状態」には結びつかない。「駄目」は囲碁の用語を起源としており、転じて「役に立たない、悪い状態」などの意味になっている⁸。(13c)の「格好」は「カッコウ」と読むが、「格好が良い」が「格好良い」と一語化すると「カッコ」と発音される。以上の漢字をひらがなで書けば(9b)(10b)(11b)(12b)(13b)になる。(9b)(10b)(12b)はひらがなが連続して読みにくいため、(9c)(10c)(12c)のように半角空けることが望ましい。

さて、現代日本語表記において、カタカナは動植物の名前も分担することがある⁹。(14a)(15a)(16a)(17a)はその例である。

- (14) a. 面白い店で 中でもゾウの頭の
注ぎ口が気に入った (『小さな巨人』)
b. 面白い店で 中でもぞうの頭の
c. 面白い店で 中でも ぞうの頭の
d. 面白い店で 中でも象の頭の
- (15) a. へびだ! (『サウンド・オブ・ミュージック』)
b. へびだ!
c. 蛇だ!
- (16) a. しっかりリングを売ってこい (『モロッコ』)
b. しっかりりんごを売ってこい
c. しっかり りんごを売ってこい
d. しっかり林檎を売ってこい
- (17) a. ニンジンも (『アニー』)
b. にんじんも
c. 人参も

(14d)の「象」は教育漢字、(15c)の「蛇」は常用漢字であるが、あえてカタカナで書いてある。動物名ゆえに日常かな書きされることが多く、したがって、漢字は読めない観客が多いのではないかと配慮したのであろう。(16d)の「檎」は表外漢字、(17c)の「参(じん)」は表外音訓であるため、漢字を避けたと推測できる。(14b)(15b)(16b)(17b)のように、ひらがな書きも許容されるが、(14b)(16b)のように、ひらがな連続の読みにくさが生じる場合は、(14c)(16c)のようにスペースを入れる必要がある。

⁸ 吉村(1982, 1987)では、表意性が退行した漢字語がカタカナ書きされることが指摘した。また、吉村(1985)では、同じ語を漢字、ひらがな、カタカナで表した場合の意味あいやイメージの違いを論じた。

⁹ 文化庁(1946)『当用漢字表』の使用上の注意事項には、「動植物の名称は、かな書きにする」とあり、ひらがなかカタカナかは明記していない。

4.3. 振りがな付き漢字表記

難読漢字をひらがなやカタカナにすると読みはわかるが、意味がわかりにくくなる場合がある。また、字数が増えるという字幕作成上の難点がある。一方、漢字には表語性があり瞬時判読性が高いという特徴がある。そこで、両者の利点を折衷したのが、難読漢字に振りがなを付けるという方法である。(18a) (19a) (20a) が実例である。

(18) a. 懺悔^{ざんげ}をしてもいいでしょうか (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

b. ざんげをしてもいいでしょうか

c. ざんげをしてもいいでしょうか

d. ザンゲをしてもいいでしょうか

(19) a. 拳^{こぶし}じゃゼロよ (『アニー』)

b. こぶしじゃゼロよ

c. こぶしじゃゼロよ

d. コブシじゃゼロよ

(20) a. ほかに親戚^{せき}がないのじゃ (『ハリーポッターと賢者の石』)

b. ほかに しんせきが ないのじゃ

c. ほかに しんせきが ないのじゃ

d. ほかに シンセキがないのじゃ

(18a) の「懺」は表外漢字、「悔」は表外音訓である。(18b)～(18d)のように、かな表記をし、スペースや傍点で読みやすくしても、「懺悔」という語自体が日本人には馴染みが薄いことから意味が伝わりにくい。(18a)のように漢字で書けば、馴染みが無いながらも、「悔」の表内音訓「くいる」から理解できる観客が多くなると思われる。(19a)の「拳」は表外漢字であるが、(19b)～(19d)のように、かな書きした「こぶし」では意味がわかりにくい。(19a)のように漢字を使えば、「拳闘」「鉄拳」など音読み「けん」の熟語から意味を類推することができる。(20a)の「親戚」の「戚」も表外漢字であるが、(20b)～(20d)のように、かな表記では理解しにくい。「戚」のみに振りがなを付ければ、教育漢字の「親」は振りがなを付けなくても「親戚」の意味がわかる。

難しい漢字に同音異義語がある場合は、振りがな付き漢字表記の利用価値はさらに高まる。つまり、同じ発音で漢字が異なり意味も違う語が他にあるので、かな書きでは意味が特定できないのである。文脈からわかることもあるが、それでも同音の他の語を一瞬思い浮かべるのは映画を楽しむ妨げとなる。

(21) a. ヘレナ 私の姪^{めい}ながら
いつも美しい (『ロミオとジュリエット』)

b. ヘレナ 私の めいながら

c. ヘレナ 私の めいながら

d. ヘレナ 私のメイながら

(22) a. そして 錨^{いかり}を探している (『サウンド・オブ・ミュージック』)

b. そしていかりを探している

c. そしていかりを探している

d. そしてイカリを探している

(23) a. アルノ川の氾濫は

フィレンチェの街を襲い — (『冷静と情熱のあいだ』)

b. アルノ川のはんらんは

c. アルノ川のはんらんは

d. アルノ川のハンランは

(21a) の「姪」は表外漢字であるが、語の意味「兄弟姉妹の娘」は、大人であれば理解もし使用もする。しかし、(21b) ~ (21d) では、「めい」という発音で想起される語が「命」「名」「明」「盟」「銘」など多数存在する。曖昧さを避けるために漢字「姪」に振りがなを付けたものと推測できる。(22a) の「錨」も表外漢字であるが、(22b) ~ (22d) の「いかり」から最初に思い浮かべるのは「怒り」であろう。(23a) の「氾」は表外漢字、「濫」は表内漢字である。(23b) ~ (23d) では、「はんらん」から「反乱」と理解するおそれがある。

振りがな付き漢字は、同字異音の場合にも効果的である。漢字は本家の中国では基本的に読み方は1字1音であるが、日本ではふつう音と訓が1つずつ、場合によっては複数の音と訓があり、読み方によって意味やニュアンスが異なる。そのため、かなを振ることにより読みを明確に示すのである。

(24) a. 氷と熱い情 (『ロミオとジュリエット』)

b. 氷と熱い情

(25) a. 汚れない生き物を殺し

その血が唇に触れると — (『ハリーポッターと賢者の石』)

b. 汚れない生き物を殺し

(26) a. 人気のないローマ (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

b. 人気のないローマ

(27) a. 殺された白人は

罰が当たったのだと (『ダンス・ウィズ・ウルブズ』)

b. 罰が当たったのだと

(24) の「情」、(25) の「汚れ」、(26) の「人気」、(27) の「罰」は漢字で表すのが普通であるが、(24b) (25b) (26b) (27b) のように書けば、それぞれ「じょう」「よごれ」「にんき」「ばつ」という読みも想起する可能性がある。それを避けるために、(24a) (25a) (26a) のように振りがな付き漢字としたものと考えられる。

いま一つ、映画字幕特有の難読漢字がある。それは「一」という簡単な漢字である。(28) のように振りがな付き漢字となっている。

(28) 我が社の目標も世界一 (『アニー』)

これは、1文が長く字幕が何枚にも渡る場合、それぞれの字幕が文の途中であることを示すハイフン「—」を末尾に使う規則があり、漢数字「一」とハイフン「—」が混同することを避けるための工夫である。(29)は字幕3枚からなる例で、字幕1と字幕2の末尾にハイフンが使われている。

(29) 1: 1966年大豪雨による —

2: アルノ川の氾濫^{はんらん}は

フィレンツェの街を襲い —

3: 芸術品を多数破壊した (『冷静と情熱のあいだ』)

(28)は(28a)のように、1ページで完結する字幕であり、(28b)のように2ページ目に続く1ページ目ではないのである。

(28) a. 我が社の目標も世界^{いち} —

b. 我が社の目標も世界 —

(30)のように、漢数字とハイフンの両方が出現する字幕もある。

(30) 世界^{いち}一の幸せ者が

その鏡を見ると — (『ハリーポッターと賢者の石』)

5. 原語の扱い

以上「2. 総ひらがな表記」「3. 総振りがな表記」「4. 難読漢字の扱い」で見てきた表記に共通するのは、日本語の発音を明確に示すための工夫である。一方で、英語やフランス語といった原語の発音（もちろん、日本語化した発音ではあるが）や綴りを表現しようとする字幕がある。この節では、その方法を見ていきたい。

5.1. 振りカタカナ付き日本語表記

まず散見することができるのは、通常日本語表記で意味を示しながら原語をカタカナの振りガナで表記する方法である。(31a) (32a) (33a) (34a)が実例である。

(31) a. 私は配役のエージェントなの (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

b. 私は配役のエージェントなの

c. 私はキャスト^{キャスト}イングのエージェントなの

(32) a. ここに"開拓前線^{フロンティア}を希望"と (『ダンス・ウィズ・ウルブズ』)

b. ここに"開拓前線を希望"と

c. ここに"フロンティア^{フロンティア}を希望"と

(33) a. 金のスニッチ^{ゴールデン}¹⁰ (『ハリーポッターと賢者の石』)

b. 金のスニッチ

c. ゴールドのスニッチ

¹⁰ 「スニッチ」は、クイディッチというスポーツで使う羽根の付いたボール。

d. ゴールデン スニッチ

(34) a. 偉大なるギンよ^{グレート} ¹¹ (『ハッピーフィート 2』)

b. 偉大なるギンよ

c. グレートなるギンよ

d. グレート ギンよ

(31a) (32a) は、原語 "casting" "frontier" の外来語「キャスティング」「フロンティア」が認知度が高いと判断すれば、(31c) (32c) のようにカタカナ表記をしても良い。認知度が低いと考えれば、(31b)「配役」(32b)「開拓前線」と日本語訳を使う。ここは、「キャスティング」「フロンティア」がかなり浸透していると判断しつつ、念のために「配役」「開拓前線」も付したのではないだろうか。

(33a) (34a) の "golden" "great" を借用した「ゴールデン」「グレート」も、比較的よく知られた外来語である。これらは「キャスティング」「フロンティア」のような名詞ではなく形容詞である。したがって、(33d)「ゴールデン」(34d)「グレート」とそのまま用いることもできるし、(33c)「ゴールドの」(34c)「グレートなる」と助詞や助動詞を付けることもできる。外来語としての認知度が低いと思えば、(33b)「金の」(34b)「偉大なる」と訳語をあてる。ここでは外来語と訳語の双方を残したいため、(33a) (34a) としたものと思われる。あるいは、形容される名詞が「スニッチ」「ギン」というカタカナ表記であるため、文字種のバランスから漢字「金」「偉大」を採用した可能性もある。

名前を示す場合は、まさにこの表記法が適している。(35a) の「ユーテンシル」はバンド、(36a) の「ツー・ソックス」は狼、(37a) の「ランプシェード」は子供の名前である。(35b) (36b) (37b) のようにカタカナのみで書けば、観客には原語の "utensil" "two socks" "lampshade" が思い浮かばず、名前の意味するところが伝わらないかもしれない。そこで「お道具」「2つの靴下」「電気のカサ」という訳をつけてカタカナを振ったのである。

(35) a. "お道具"^{ユーテンシル} ってバンド

知ってる? (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

b. "ユーテンシル" ってバンド

(36) a. 明日 現れたら

"2つの靴下" と名付けよう (『ダンス・ウィズ・ウルブズ』)

b. "ツー・ソックス" と名付けよう

(37) a. たとえば "電気のカサ"^{ランプシェード} (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

b. たとえば "ランプシェード"

(38) は、白雪姫がベッドに彫ってある名前を見つけて、読み上げる場面である。字幕は 1～5 に分かれている。

(38) 1: せんせい^{ドック}

¹¹ 「ギン」は、登場するペンギンの名前。

- 2: ^{ハッピ}ごきげん
 3: ^{スニージー}くしゃみ ^{ドーピー}おとぼけ
 おもしろい名前ね
 4: ^{クランビー}おこりんぼ ^{バッシュフル}てれすけ
 5: ^{スリーピー}ねばすけ (『白雪姫』)

カタカナ書きの意味がわかるのは、子供では「ハッピー」、大人の一部でも「ドック」「スリーピー」が加わる程度かもしれない。"sneezy" "dopey" "crumpy" "bashful" は、わからないだろうが、名前であるからには原語の発音に近いカタカナを知りたいと思う観客もあろうかと、配慮したものと推測できる。

さて、原語の多義性や同音語を知らなければ理解できない場面もあり、これを字幕で表現して観客を笑わせるのは至難の技である。(39) (40) はマンハッタンからブルックリンまで帰ろうとタクシーを拾ったヨーヨーと、東ドイツから移住してきたばかりで英語が下手なタクシー運転手ヘルムートの会話である。(1～6は字幕ページ、Yはヨーヨー、Hはヘルムートを表す。)

- (39) 1Y: ニューヨークだ
 2Y: クールだろ?
 3H: 寒いとても涼しい
 4Y: 違うよ
 "イカす"って意味だ
 5H: そうか"クール"は
 "イカす"って事か
 (40) 1Y: マンハッタンに戻れるか?
 2H: ダメだ
 3Y: 来た道を全部 反対に行けば
 元に戻れる
 4Y: 右に曲がった所は
 今度は左に曲がる
 5Y: 左に曲がった所は右だ
 いいな?
 6H: 2回 右へ (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

(39) は2Yの"cool"を「涼しい」と理解したために3Hで間の抜けた返事をしているのであるが、この誤解を「涼しい」で表し、原語の発音「クール」を振りガナで示しているところに苦心が見える。さらに注目すべきは、2Y「クールだろ?」である。「イカすだろ?」としてしまっただけでは、3Hの「とても涼しい」につながらない。「クールだろ?」と表現したからこそ「とても涼しい」で笑いを誘うことができる。この英語がわからない場合でも、何が可笑しいのか、4Yと5Hが解説になっている。

(40) は解説台詞がないので、振りガナを頼りに解釈してみよう。5Yに「ライト」が2箇所あり、「右」と「いいな」という2つの訳が宛てられている。"right"には「右」のほかに「正しい」「わかった」という意味があり、語尾を上げると「わかったか」「いいな」という確認になる。この最後の"right"をも「右」と理解し、6Hで「2回右へ」と答えてしまったのである。当然、「右」には「ライト」と振りガナが付けてある。

(41) はパリのタクシー運転手と客2人がフランス語で話している場面で、客から出身を聞かれた運転手が「コートディヴォワール」と答えたのに対して、客2人が返す言葉である。

(41) 1: コートディヴォワール?

2: ディヴォワ^{リヤン}人か (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

1ではフランス語"Côte d'Ivoire"をカタカナ書きして「コートディヴォワール」としている。映画では、2は「コートディヴォワール人」のフランス語"Ivoirien"と話しているが、字幕は「コートディヴォワール人」でも「イヴォワール人」でもなく、「ディヴォワ^{リヤン}人」と書いているのはなぜだろうか。まず、語頭の「イ」が「ディ」になっているのは、「d」の省略をカタカナで正確に表現することができないため、そのまま残したからであろう。次に、「人」の振りガナ「リヤン」である。原語の形態素"ien"をカタカナにした「イエン」あるいは「ヤン」が、本来は付されるところである。しかし、ここは、「何も～ない」という意味の"rien"と同音であることによる後の台詞が控えているため、「Ivoirien」の末尾"rien"を「リヤン」と振っていると考えられる。これは、「ディヴォワール」が「ディヴォワ」となっている理由でもある。「Ivor+ien」ならば「ディヴォワール人」と書いたが、「Ivo+rien」となったため「ディヴォワ人」にしたのである。

5.2. 振り日本語付きカタカナ表記

(41) のパリの乗客の言葉は、(42) のように続く。

(42) 1: コートディヴォワール?

2: ディヴォワ^{リヤン}人か

3: "イ・ヴォワ^{何 も 見 え な い}・リヤン!"

4: 納得だ!

5: "イ・ヴォワ^{何 も 見 え な い}・リヤン!"

6: 赤信号を4つ無視したぞ

7: 見えないなら眼鏡でもかけろ

8: しっかり前を見ろよ

9: 道路はそっちだぞ!

10: ディヴォワール人に

運転はムリだ (『ナイト・オン・ザ・プラネット』)

3と5の「イ・ヴォワ・リヤン」は、原語 "Il voit rien." をカタカナで表記したものであり、その意味「何も見えない」は小さな字で振ってある。前節の(39) 3H「涼^{クール}しい」のように、原語

を振りガナにして「何も見えない」と表記しても良かったかもしれない。しかし、英語の「クール」から「涼しい」が連想できる観客の割合に比べると、フランス語の「ディヴォワリヤン」から「何も見えない」が思い浮かぶそれは低いと想定したのではないか。

5.3. ラテン文字表記

最後に、原語の綴りをそのまま示した例を見てみよう。(43)は、有名な「ドレミの歌」の歌詞である。

- (43) 1: ドーは Doe 雌のシカ
 2: レーは Ray 太陽の金色の滴
 3: ミーは Me 私のこと
 4: ファーは Far
 遠い道の向こう
 5: ソーは Sew 針と糸の仕事
 6: ラーは ソーの次の音
 7: ティーは Tea
 パンと一緒にどうぞ (『サウンド・オブ・ミュージック』)

映画『サウンド・オブ・ミュージック』は1964年に公開されたが、1959年製作のミュージカルを原作としている。日本のジャズ歌手、ペギー葉山が、1960年にアメリカのミュージカル公演を観て感銘を受け、「ドレミの歌」の日本語訳を行った¹²。帰国後、自身による歌唱がレコードリリース、テレビ放送¹³され、映画公開前に(44)の歌詞が日本中に広まっていたという背景がある。

- (44) 1: ドはドーナツのド
 2: レはレモンのレ
 3: ミはみんなのミ
 4: ファはファイトのファ
 5: ソは青い空
 6: ラはラッパのラ
 7: シは幸せよ

日本の観客は「ドはドーナツのド、レはレモンのレ」と歌っていたのに、映画を見たら「ドは雌のシカ、レは太陽の金色の滴」という字幕が出てくるのでは驚いてしまう。かといって日本語の詞(44)を載せるというのも、映画字幕としては相応しくない。「Doe」「Ray」という原語をそのままの綴りで表記し、あわせて英語の歌詞の意味を見せるしか仕方がなかったのであろう。

¹² 読売新聞文化部(1999)に詳しい。

¹³ NHK みんなのうた https://www.nhk.or.jp/minna/songs/MIN196206_05/

6. おわりに

以上見たように、約 90 年の歴史のある日本語の映画字幕には、通常の正書法とは異なる特殊な正書法があった。すなわち、句読点やかぎ括弧を用いず、その代わりにスペースや付点を使っていた。また、字幕が 2 ページ以上になる場合に、文末にハイフンを記すという約束があった。そのことにより漢数字「一」には、振りがなをつけて混同しないような工夫をしていた。

漢字、ひらがな、カタカナの使い分けや振り仮名の利用は、実は一般の文章にも見られる。発音と意味の両方を明記したい、原語と日本語の双方を表現したいという字幕製作者の欲求は、同時に観客の期待するところでもある。たしかに日本語の表記は複雑で不便であるかもしれないが、この複雑な表記による豊かな表現を日本語使用者は愛しているのである。

参考文献

- NHK、「ドレミの歌」『みんなのうた』、https://www.nhk.or.jp/minna/songs/MIN196206_05/ 2017 年 12 月 25 日参照。
- 清水俊二、1985、『映画字幕五十年』、早川書房。
- 清水俊二、1992、戸田奈津子、上野たま子編、『映画字幕は翻訳ではない』、早川書房。
- 田村幸彦、1931a、「アメリカ映画日記」1『キネマ旬報』第 389 号、45-46。
- 田村幸彦、1931b、「アメリカ映画日記」2『キネマ旬報』第 390 号、57-58。
- 田村幸彦、1931c、「アメリカ映画日記」5『キネマ旬報』第 393 号、88-89。
- 田村幸彦、1931d、「アメリカ映画日記」6『キネマ旬報』第 395 号、61-62。
- 田村幸彦、1931e、「アメリカ映画日記」9『キネマ旬報』第 399 号、60-61。
- 戸田奈津子、1994、『字幕の中に人生』、白水社。
- 戸田奈津子、2009、『字幕の花園』、集英社。
- 文化庁、1946、「当用漢字表」
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kakuki/syusen/tosin02/index.html 2017 年 10 月 31 日参照。
- 文化庁、1981、「常用漢字表」
http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kakuki/14/pdf/jyouyou_kanjiyou.pdf 2017 年 10 月 31 日参照。
- 読売新聞文化部、1999、『唱歌・童謡ものがたり』、岩波書店。
- 吉村弓子、1982、「現代日本語における漢字の表意性」筑波大学一般・応用言語学研究室『言語学論叢』第 1 号、2-16。
- 吉村弓子、1985、「語表記意識の変異」筑波大学一般・応用言語学研究室『言語学論叢』第 4 号、82-92。
- 吉村弓子、1987、「日本語における漢字の表意機能の研究」昭和 60～61 年度文部省科学研究費補助金奨励研究 (A) 研究者：吉村弓子 課題番号：6079009。
- リュミエール、1895、『工場の出口』『ラ・シエタ駅への列車の到着』、
<https://www.youtube.com/watch?v=sbW8Izcqh8M> 2017 年 10 月 31 日参照。
- リュミエール美術館 http://www.mmm-ginza.org/museum/serialize/backnumber/0511/museum_0511.html
2017 年 10 月 31 日参照。

参考資料¹⁴

- 『アニー』、2015、ソニー・ピクチャーズ エンターテインメント。
『サウンド・オブ・ミュージック』、2015、20 世紀フォックス ホームエンターテインメントジャパン

¹⁴ DVD は発売年、発売元を示した。

- 『白雪姫（世界名作アニメ）』、2009、ケイメディア
- 『シンデレラ』（世界名作アニメ）』、2009、ケイメディア
- 『スイミー』、1969、レオ・レオニ 作、谷川俊太郎訳、好学社
- 『ダンス・ウィズ・ウルブズ』、1990、東北新社
- 『小さな巨人』、2004、NBCユニバーサル・エンターテイメント
- 『ナイト・オン・ザ・プラネット』、2005、NBCユニバーサル・エンターテイメント
- 『ハッピーフィート2』、2012、ワーナー・ホーム・ビデオ
- 『ハリーポッターと賢者の石』、2002、ワーナー・ホーム・ビデオ
- 『ピーターパン』、(世界名作アニメ)、2009、ケイメディア
- 『モロッコ』、2006、ファーストトレーディング
- 『冷静と情熱のあいだ』、2001、フジテレビジョン・角川書店・東宝
- 『レオ・レオニ 5つの名作集』、2013、日本コロムビア
- 『ロミオとジュリエット』、2003、パラマウントホームエンタテインメント ジャパン